

**〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕**

担当課・係名	下水道 課 業務 係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 333 】【
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 1 節 <input type="checkbox"/> 4 項 <input type="checkbox"/> 下水道

<b>業務の名称</b>	下水道使用料賦課、徴収事務事業			
(1) 根拠法令・条例	長久手町下水道条例			
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>21.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>255</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>    </u> 人・日)			
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>29,240</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))			
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成20年度実績)			
(5) 業務期間	開始した年度	平成8年度	終了 (予定) 年度	年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	下水道使用料を徴収することにより、健全な運営を行う。																																													
②業務が対象とする住 民 (地域、層)	下水道に接続し、汚水を排出する各家庭及び事務所																																													
③業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績)	使用料を算定し、次のような段階で徴収を実施している。 ・納付書の送付 ・督促状の送付 ・催告状の送付 ・電話による催告 ・戸別訪問による催告																																													
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	現年度・過年度の未納者対策として夜間電話催告・夜間臨戸を昨年度と同程度実施したが、使用者の増加と共に未納者が増加した。																																													
	【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>徴収率 (公共・農排の現年、過年含む。)</td> <td align="center">98.2</td> <td align="center">97.3</td> <td align="center">97.0</td> <td align="center">96.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	徴収率 (公共・農排の現年、過年含む。)	98.2	97.3	97.0	96.6		2							3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																								
1	徴収率 (公共・農排の現年、過年含む。)	98.2	97.3	97.0	96.6																																									
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

○接続者が増えることによって、使用料の額が増えるとともに未納額も増えるため、その滞納対策が課題である。

(8) 改善実績（過去4年間の実績）

○滞納対策として夜間電話催告と夜間戸別訪問を実施した。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	三段階評価 (2～0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点：成果あり、適切だった　1点：ある程度適切だった　0点：適切でなかった、遅れている		平均 1.0点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>見直して継続（業務の拡大）</li><li>見直して継続（業務の縮小）</li><li>④ 見直して継続（方法の改善）</li><li>見直して継続（他業務と統合）</li><li>廃止する。</li><li>休止する。</li></ol>
②評価理由	使用料の徴収額の増加とともに未納額も増加したことについて今後も見直しが必要である。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

① 改善目標	2回目以降の水道の請求が、上水道と下水道と分かれるため一括請求したい。
② 改善時期	平成23年度開始を目標とする。
③ 改善方法	愛知中部水道企業団と協議している。